

例　　言

1. 本書は、東京建物株式会社・東急不動産株式会社・近鉄不動産株式会社を原因者とする、平城京跡右京一条三坊八坪（西大寺旧境内食堂院跡推定地）および右京北辺三坊三坪において実施した、マンション建設とともに発掘調査の概要報告である。
2. 調査は、独立行政法人文化財研究所奈良文化財研究所（以下奈文研とする）都城発掘調査部（平城地区）が、2006年5月24日から10月31日にかけて実施した。
3. 本調査は、都城発掘調査部（平城地区）の平城第404・410・415次調査として実施したもので、各遺構には西大寺旧境内における一連の遺構番号を付した。また、遺構図の座標値は、平面直角座標系第 系（世界測地系）による。高さは、東京湾平均海面を基準とする海拔高であらわす。
4. 各発掘調査の担当者および現場調査員は以下のとおりである。

第404次 大林潤（担当者） 浅野啓介 石村智 今井晃樹 神野恵 高田貴太 渡辺晃宏

第410次 馬場基（担当者） 金井健 小池伸彦 林正憲

第415次 山本崇（担当者） 島田敏男 深澤芳樹 森川実 和田一之輔

このほか、谷崎仁美（龍谷大学）、海野聰（東京大学）、橋本那富（京都大学）が参加した。

また、年輪年代測定は、埋蔵文化財センター年代学研究室の光谷拓実、大河内隆之があたり、環境考古学分析は、株式会社古環境研究所に委託し、同研究所金原正子氏より玉稿を賜った。

5. 調査ならびに本書の編集に際しては、以下の機関および個人の協力を得た。

（財）元興寺文化財研究所、西大寺、東京大学文学部、東京建物株式会社、東急不動産株式会社、近鉄不動産株式会社、奈良県教育委員会、奈良市教育委員会、秋山成人、岡本広義、狭川真一、久世康博、佐伯俊源、佐藤亜聖、佐藤全敏、高橋照彦、武田和哉、田代弘、藤井章徳、三好孝一、三好美穂（敬称略）

6. 本書の作成は、都城発掘調査部長川越俊一の指導のもと、部員全員があたった。各項の執筆者は以下のとおりである。

- 1 ・ 2 大林潤、 - 3 山本崇、 大林・馬場基・山本、 - 1 渡辺晃宏、 - 2 今井晃樹・林正憲、 - 3 神野恵、 - 4 小池伸彦・大林、 - 1 大河内隆之、 - 2 金原正子、 大林・渡辺、〔付章〕金井健

7. 本書で使用した写真は、牛嶋茂、中村一郎、杉本和樹、大林潤が撮影した。

8. 本書の編集は大林潤がおこなった。また、表紙のデザインは神野恵・中村一郎が担当した。